



株式会社福富製作所

2011年度環境活動レポート

(対象期間:2011年7月～2011年9月)

	目次
I	環境方針
II	組織の概要
III	認証・登録の対象組織・活動
IV	環境目標
V	環境目標の実績
VI	環境活動の取り組み計画と評価
VII	次年度の取り組み内容
VIII	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
IX	代表者による全体の評価と見直し

作成日：2011年11月1日

I 環境方針

経営基本方針

1. 誠実と信頼を基とし、堅実経営を貫く。
2. 時代の変化に適応する経営の革新を推進する。
3. 基本を忠実に実行する。

環境方針

当社は、精密製缶・板金加工業としての企業活動をとおして地球温暖化の防止、地球環境との共生を最重要課題として認識し、全従業員が環境負荷の低減に配慮した活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組む経営を目指します。

<環境行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

③総排水量の削減（水資源の保全）

④グリーン購入の推進

⑤当社が生産する製品の環境負荷の低減

⑥化学物質使用量の管理の徹底

⑦環境教育の充実

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2011年7月1日

改定日：2011年11月1日

代表取締役社長 福富博志

II 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 福富製作所
代表取締役社長 福富 博志
- (2) 所在地
本 社 埼玉県鴻巣市袋689番3
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
責任者 専務取締役 福富 聡
TEL : 048-547-2304
FAX : 048-548-4164
- (4) 事業内容
精密製缶及び板金加工
- (5) 事業の規模

事業規模	単位	2010年
売上高	百万円	245
従業員	人	17
延べ床面積	m ²	1155m ²

(注:2011年現在19名)

- (6) 事業年度 9月～8月

III 認証・登録の対象組織・活動

対象範囲

本社工場の全組織及び全活動

IV 環境目標

項目	単位	2010年 (基準年)	2011年	2012年	2013年
二酸化炭素総排出量削減	kg-CO ₂ / 百万円	1,300	1,294	1,286	1,281
			0.50%	1.0%	1.50%
廃棄物排出量					
一般廃棄物量排出量	kg	120	120	120	120
産業廃棄物排出量原単位削減	トン/ 百万円	0.290	0.288	0.287	0.286
			0.50%	1.0%	1.50%
総排水量	m ³	147	147	147	147
当社生産製品の環境負荷低減 (2013年まで(総資源投入量-廃棄量) / 総資源投入量比率を維持する)	%	84.8%	84.8%	84.8%	84.8%
グリーン購入 (2013年までに材料を含め5件まで増やす)	品目	—	3	4	5
化学物質使用量管理の徹底 (2013年まで使用量を増やさない)	L	塗料 100 シンナー176 計 276	塗料 100 シンナー176 計 276	塗料 100 シンナー176 計 276	塗料 100 シンナー176 計 276

V 環境目標の実績
(2011年7月～9月実績)

		2010年 (基準年度)	2011年		評価
			目標 7月～9月	実績 7月～9月	
二酸化炭素総排出量削減					
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/ 百万円	1,163	1,048	895.0	○
ガソリン軽油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2/ 百万円	137.7	103.1	68.1	○
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2/ 百万円	1,300	1,151.1	963.1	○
廃棄物排出量削減					
一般廃棄物の削減	kg	30	30	10	○
産業廃棄物の削減	トン/ 百万円	0.290	0.259	0.233	○
総排水量維持					
	m ³	51	51	52	△
当社生産製品の環境負荷の低減					
(部材の使用効率向上)	%	84.80%	84.80%	81.60%	△
グリーン購入					
	件数	～	1	0	—
化学物質使用量管理の徹底					
	L	69	～	0	—

VI 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
取り組み計画		
電力による二酸化炭素排出量の削減 ・機器への電源投入時間管理 ・5Sの徹底による作業効率の向上 ・不要な照明の消灯、削減	◎ △ ○	電源のオン・オフに関する意識は高まった。 5S教育を更に進め意識を高めて行く (仕事量が予想以上に増加しているため使用量は目標を超している)
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 ・効率的なルートを選択 ・アイドリングストップ ・急発進・急加速の防止、冷房温度を上げる	○ ○ ○	ガソリン、軽油の使用量は目標を達成しているが運転に関する教育を強化し、意識を更に高める
一般廃棄物の削減 ・分別ボックスの設置 ・コピー用紙購入削減	◎ ◎	一般廃棄物は減っているが更に維持に努める
産業廃棄物 (鉄くず等) の削減・リサイクル率の向上 ・分別廃棄の徹底 ・廃棄物のリサイクル化	◎ ◎	更に維持に努める リサイクルは100%実施されている
総排水量 ・手洗い水量の適正化	◎	目標は達成している。更に維持に努める
グリーン購入 ・グリーン購入の推進	○	まだ購入の実績はないが、購入の意識は明確である
当社が生産する製品の環境負荷の低減 (部材の使用効率向上) ・5Sの徹底による不良の低減	△	まだ品質管理教育が不十分である。当面更に5Sの徹底を推進する 数値は、資材購入月と生産月とのずれがあるため長期的に観察する。
化学物質使用量の管理の徹底 ・使用時の管理 (必要以上の使用をしない)	◎	管理されており問題は無い

VII 次年度の取り組み内容

電力による二酸化炭素排出量の削減

- ・ 機器への電源投入時間管理
- ・ 5Sの徹底による作業効率の向上
- ・ 品質管理による不良率低減
- ・ 照明の削減

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

- ・ 効率的なルートを選択
- ・ アイドリングストップ
- ・ 急発進・急加速の防止、冷房温度をあげる
- ・ 低燃費車への更新（買替え時）

一般廃棄物の削減

- ・ 紙等の購入削減

産業廃棄物（鉄くず等）の削減・リサイクル率の向上

- ・ 歩留りの向上による廃棄量の削減
- ・ QC教育実施、品質改善

総排水量

- ・ 手洗い水量の適正化

グリーン購入

- ・ グリーン購入の推進

当社が生産する製品の環境負荷の低減（部材の使用効率向上）

- ・ 5Sの徹底による不良の低減

化学物質使用量の管理の徹底

- ・ 使用時の管理
（必要以上の使用をしない）

VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ガス、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、機械プレス
消防法（危険物）	軽油、灯油、シンナー
フロン回収破壊法	窒素製造装置、業務用空調機（但し、修理・買替え時のみの適応）
自動車リサイクル法	

環境関連法規制等の遵守は適切に行われております。
なお、訴訟等も過去3年間ありません。

IX 代表者による全体の評価と見直し

今年からはじめてEA21に取り組んだが、業務が超多忙になっているなかで体制作りもまだ途中である。全従業員の環境に対する意識が向上してきたので更に目的意識を高め目標を達成できるようにしていきたい。